

より安定的・かつ効率的な自動車リサイクル制度への発展に向けた情報発信等の取組み（案）

1. 背景・目的

指定法人業務を担う公益財団法人自動車リサイクル促進センターは、国の要請を受けて 2015 年 11 月発足した情報発信の在り方等に関する検討会での議論等を踏まえ、より安定的・かつ効率的な自動車リサイクル制度への発展に向けて、自動車ユーザー、自動車製造業者等、関連事業者、自治体、国に代表される関係主体と連携して情報発信等(*1)に取り組むものである。

(*1) 情報収集、情報発信、情報共有

2. 取組みの方向性

（１）情報収集

➤ より安定的・かつ効率的な自動車リサイクル制度の発展に資する情報を収集する。

〔ex1〕ユーザーに対するアンケート調査（認知度調査）等を実施する。

〔ex2〕ニーズ把握に資するユーザーとの意見交換会を実施する。

〔ex3〕今後収集する情報の整理・検討に取り組む。（以下、一例）

- ・使用済自動車から取得できるリユース・リビルト部品の点数・重量等の定点観測
- ・自動車リサイクルの観点での自動車の国内流通状況の定点観測（その他、付加情報）
- ・使用済自動車から解体自動車の流通状況の定点観測（その他、付加情報）

（２）情報発信

➤ 自動車購入前、購入時、使用時、整備時、売却時、使用済時などでユーザー等が欲する情報は異なり、更に環境知識や意識にも差があることから、これらに留意し、用語の統一を図りながら、わかりやすくユーザーに対して情報を発信する。

また、国内在住の外国人ユーザー等に対して複数言語を用いた情報を発信する。

➤ 本財団が保有する実績情報等を始め、収集活動で得られた情報を整理し、効率的な媒体を用いて情報発信を行う。

➤ 選択肢拡充に資するユーザー向けの関連事業者情報など、ユーザービリティある Web ページを開設し、情報発信に取り組む。

➤ 将来、自動車ユーザーになる可能性がある方に対して情報を発信する。

（３）情報共有

➤ 自動車リサイクル制度における役割を踏まえ、ユーザー、自動車製造業者等、関連事業者、自治体、国に代表される関係主体と情報を共有し連携する。

➤ 自動車リサイクルの共通的な情報を Web ページに掲示し、関係主体が開設する Web ページとの連携を図る。

3. 取組み費用イメージ

	項目	施策案	対象	概算 (万円/年)
情報 収 集	自動車ユーザーに対するアンケート調査等の定点観測	アンケート調査(1 回/年)	ユーザー等	200
	ニーズ把握に資する自動車ユーザー等を交えた意見交換会の定期的な実施	意見交換会の実施(1 回/年)	ユーザー等	100
	今後収集する情報の整理・検討 * 右記施策案は一例	使用済自動車から取得できるリユース・リビルト部品の点数・重量等の定点観測	-	1,500
		自動車リサイクルの観点での自動車の国内流通状況の定点観測	-	1,500
		使用済自動車から解体自動車の流通状況の定点観測	-	1,500
情報 発 信	環境イベント出展	環境イベント出展(1 回/年)	ユーザー等	700
	TVCM 広告、インターネット・街頭広告、チラシ/ポスター配布、他 * 一部、複数言語対応	TVCM 広告	ユーザー等	2,000
		新聞等広告	ユーザー等	1,000
		インターネット・街頭広告	ユーザー等	500
		映像・動画等の製作・保守	ユーザー等	200
		チラシ/ポスター配布	ユーザー等	500
		JAF メイト広告(2 回/年)	ユーザー等	4,800
		全国高速道路 SA/PA での広告(2 回/年)	ユーザー等	3,600
	自動車教習所に通うユーザー予備軍向けの情報発信	運転免許学科教本への広告掲載 教習生への冊子配布	ユーザー等	1,500
Webページを用いた情報発信 * 一部、複数言語対応	・開設費(イニシャル) 2,000 万円(5 年毎) ・保守費(ランニング) 100 万円/年	ユーザー等 関係主体	500	
情報 共 有	自治体との定期的な情報共有	行政連絡会議等(1 回/年)	関係主体	100
	自動車製造業者等、関連事業者、国との定期的な情報共有	情報共有の場を設置(1 回/年)	関係主体	100
費 用 概 算 計 (単年度)				20,300
費 用 概 算 計 (5 年間)				101,500

以 上